

きらら としょかん 

新屋図書館だより



発行：秋田市立新屋図書館

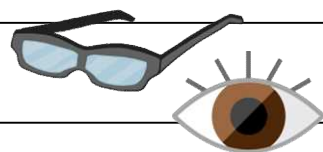
秋田市新屋大川町 12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 248

R4. 9月号

メガネウィーク



10月1日はメガネの日。新屋図書館では目や、メガネに関する本などを展示、貸出します。普段はコンタクト着用の職員が期間中はメガネを掛けるかも？

メガネ愛あられる一週間をお過ごしください！

開催期間：令和4年9月27日（火）～10月2日（日）

場 所：渡り廊下

9月のおはなし会

9月3日（土）14:00～14:20

～いろいろおやさい～

おはなしのへや（幼児～小学生）



9月13日（火）10:30～10:50

～のせてのせて～

おはなしのへや（赤ちゃん～）



親子タイム



声を出して本を読んだり、館内を探検したり、開館前の図書館を親子で自由に楽しみましょう！

対象：未就学児とその保護者

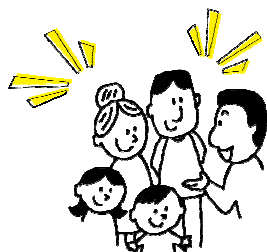
9月10日（土）9:00～9:55

9月24日（土）9:00～9:55

元気な子 大歓迎！！

【お知らせとお願い】

9月28日（水）新屋図書館で市民向け見学会が行われます。（申込みの受付は終了しました。）開館直後の30分間ほど、館内がにぎやかになることが予想されます。何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。



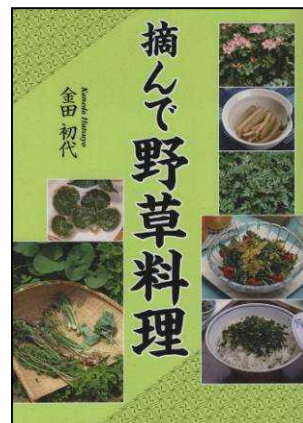
新 刊 案 内

摘んで野草料理

金田 初代／著

創森社 請求記号 596.37 (野草)

秋田に住んでいると、フキ味噌やヨモギ餅などはそれほど珍しいものではありませんが、誰もが作れるかという点別のはなし。先人の知恵を見習い、調理の手間を省く摘み方、食材を生かす調理法や保存法を知ること、季節の野草を存分に味わい、楽しむことができます。



悪い言語哲学入門

和泉 悠／著

筑摩書房 請求記号 801.01 (言語哲学)

悪口や罵倒、嘘、でたらめ…普段使っていることばには負の側面があります。でも、私たちはそれらをなぜ“悪い”と判断し、使ってはいけないものだと考えているのでしょうか？そんな“悪い”ことばにひそむ謎を、哲学の方法を用いてときほぐしていきます。



水性塗料筆塗りの教科書

星野 孝太／編

ホビージャパン 請求記号 507.9 (模型)

憧れの汚し塗装、リアルな質感、カッコいい仕上げを自分の手で実現できるチャンス！高度なテクニックは必要なし。安価な道具や塗料でもそれぞれの特徴を生かせば本格的なプラモデルの雰囲気を出すことができます。丁寧な作例を参考に筆塗りの世界を体感しましょう！



学校はうたう

杉本 深由起／詩、松田 奈那子／絵

あかね書房 請求記号 Eマ (絵本) ※小学校低学年向け

「わたしは 運動場／こう見えても／でっかい地球の 一部分さ」
耳をすませると、毎日子どもたちを見守っている通学路、校門、出席簿やランドセルたちが、こんな風に自分の気持ちをうたっているかもしれません。ぬくもりあふれる絵と一緒に楽しめる詩の絵本です。



図書館員（飯野 敏）のおすすめ本

書 名

ふたごのでんしゃ

著 者 名

渡辺 茂男／作、堀内 誠一／絵

出 版 社

あかね書房

所 蔵

新屋、明德、土崎、イソップ、フォンテ、河辺
請求記号 91ワ（日本の児童文学）



「べんけい」と「うしわか」は、ふたごの路面電車です。二台は、息もぴったりで、毎日同じ時間に市の真ん中の市役所ですれ違うのでした。「しゅっぱつしんこう！」子どもたちは、路面電車に乗るのが大好きでした。

市民の生活に欠かせなかった二台でしたが、いつのころからか、自動車が増えて思うように走れなくなりました。やがて、路面電車の廃止

が決まってしまいました。市長さんは、市民のために頑張ってくれた二台をなんとかして生かすことができないかと、あれこれ考えました。そして…二台は、思いもよらない素敵なものに生まれ変わります。

初版から五十年以上経った今も、本の中から路面電車の音や子どもたちの歓声が聞こえてきそうな一冊です。

図書館員（鎌田 友理）のおすすめ本

書 名

超図解 むまがさワタリのふしぎな昆虫大研究

著 者 名

むまがさ ワタリ／著、丸山 宗利／監修

出 版 社

KADOKAWA

所 蔵

新屋
請求記号 486（昆虫）



地球上の生物の約6割（動物に限れば約7割）を占める、地球の圧倒的多数派・昆虫。歴史も古く、人間どころか恐竜よりも前から存在している大先輩でもあります。 「人体や農作物に被害を及ぼす」「見た目や動きがなんかイヤ」とどうにも敬遠されがちです。

こちらの本では、多種多様でふしぎな昆虫の生態を、虫好きの女の子・ひかり、読書好きの

女の子・ほたる、そして賢い虫型AIロボット（!）・バグ太郎とともに学んでいく…というかたちで楽しく図解しています。

東京大学の研究によれば、虫嫌いの原因のひとつに「知識不足」が挙げられるそうです。昆虫に感じる“不気味さ”“気持ち悪さ”について「なぜそうなのか」を知ることができれば、むやみに怖がらなくてすむようになるかも…。

記事になったお酒の話題あれこれ…百年の時を越えて…

横手市の山内杜氏組合と県醸造試験場は、組合の創立100周年を記念した式典において、「現在は使用されていないが、100年前に使用されていた記録が残っている」とされる醸造用の酵母を東京の日本醸造協会から取り寄せ、その酵母を使用した吟醸酒づくりに取り組むと発表しました。

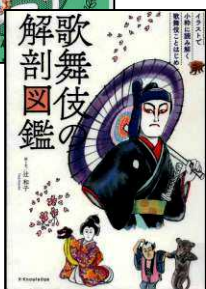
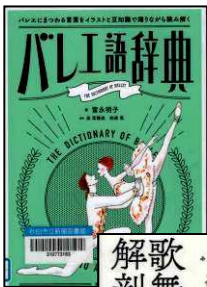
使用される酵母は、5つの候補の中から試験醸造を経て選ばれており、ベリー系の香りとフルーティーな味わい、甘みと酸のバランスが絶妙とのこと。企画に参加する県内の複数の蔵が、同じ酵母を使ってそれぞれの技法を生かした仕込みを行うそうです。

醸された吟醸酒は、来年の6月に商品化が予定されています。百年の時を越えて復活するお酒…いったいどんな味になるのでしょうか。

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】
2022年7月23日
秋田魁新報

今、あなたへ…芸術劇場開演！…



9月23日、あきた芸術劇場ミルハスがいよいよグランドオープンします。多くの演奏や演劇の公演が予定されており、公演日を待ち望んでいる方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は劇場公演に関する本を2冊ご紹介します。

『歌舞伎の解剖図鑑』（辻 和子／絵と文、エクスナレッジ）では、歌舞伎鑑賞における基本が載っています。歌舞伎の用語や観劇の1日の流れ、楽しみ方のポイントを知ることができます。歌舞伎に興味があるという方は一度手に取ってみてはいかがでしょうか。バレエの様々なトリビアが掲載されている『バレエ語辞典』（富永 明子／著、森 菜穂美・四家恵／監修、誠文堂新光社）では、バレエと関わりの深い人物や代表的な演目、舞台用語などを素敵なイラストとともに楽しめます。ダンサーへのインタビューもあり、煌びやかな世界の歴史にふれることもできます。

図書館員のひとりごと

暑い！涼しいと思いこもうとしても暑いものは暑い！暑さが苦手なのに、自宅の部屋にエアコンはなく、扇風機も去年壊れたまま。

昔はエアコンがなくても過ごせていたのになあと呟いたところで、年々上昇する気温には勝てないので、我慢できない夜は、エアコンのある居間にずるずると布団を引きずって眠るのですが、敷いているそばから愛犬が潜り込んできて、ど真ん中で先に眠られてしまいます。

お願いしてよけてもらっても、体温で布団はアツアツのホッカホカ。それでも、お犬様（の可愛さ）は夏の暑さより強し。今夜も汗だくになりながら眠ります。
(大石)

台湾茶にハマり始めました。元々好きだったのですが、某コンビニにてペットボトルのものを飲み、再燃。すぐにお茶屋さんに車を走らせ茶葉を購入しました。（こういうときだけ行動力があるのです）台湾茶には、ハチミツのような香りの東方美人やコクのある鉄観音などがあり、その種類は豊富。私は爽やかな後味の凍頂烏龍にしましたが、今後効能についても色々調べてたくさん試していきたいと思います！

自宅でそれを飲みつつボーっとしているのが幸せな時間。コロナが終息したら現地に飲みに行きたいな…。（ついでにマンゴーかき氷と火鍋も食べたい！それから小龍包も！）（長井）